

ご支援ありがとうございました



おびひろ応援寄附金

～寄附者の皆様へのおたより～

列島全土が猛暑に襲われた夏は過ぎ去り、落葉の季節も終わって北国帯広には長い冬が訪れています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今夏は全国で電力の需給が課題となりましたが、北海道では冬の電力不足も深刻な状況で、今冬は厳しい寒さの中で省エネに取り組まなくてはならない見通しとなっています。

このような中、帯広市は今年、開拓130年・市制施行80年を迎え、数々の記念行事が催されています。この地を築いた先人の労苦を偲び、その遺志に思いを馳せることは、現代の困難や不確実な将来に直面する私たちに新たな一歩を踏み出す勇気を与えてくれます。

そして、帯広を応援してくださっている皆さんがいることも私たちにとってかけがえのない宝物です。

このまちを築いてくださった諸先輩と、応援してくれている皆様の期待に応えるべく、今後も精一杯の努力を重ねてまいり所存ですので、今後とも本市のまちづくりにご支援いただければ幸いです。

改めましてたくさんの方からご寄附をお寄せいただきましたことに、心から感謝し、お礼を申し上げます。

平成24年12月

帯広市長 米沢 則寿

寄附金の受納状況

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの間に、個人の方から帯広市に対し、113件、11,306,962円の寄附金をお寄せいただきました。裏面には寄附金の主な用途を掲載しています。

分野	件数	金額
保健・福祉施策の推進	3 件	1,050,000 円
学校教育の振興	1 件	3,000 円
スポーツの振興	1 件	30,000 円
ばんえい競馬の振興	98 件	9,129,962 円
こどもや青少年の健全育成	4 件	474,000 円
図書館図書充実	4 件	580,000 円
文化の振興	1 件	30,000 円
帯広の森をはじめとする緑化事業の推進	1 件	10,000 円
合計	113 件	11,306,962 円

What's new おびひろのまちづくり

近況報告



★帯広市開拓130年・市制施行80年記念式典を挙行



今年、帯広の地に開拓の鍬が下ろされてから130年、市制を施行してから80年の歴史の節目にあたります。これを記念して11月1日に市民文化ホールで約1,000人の皆さんとお祝いし、未来への飛躍と挑戦を誓い合いました。



未来を担う子どもたちも、合唱や演奏のステージ発表などで式典に華を添えてくれました。

★フードバレーとかちマラソンを開催

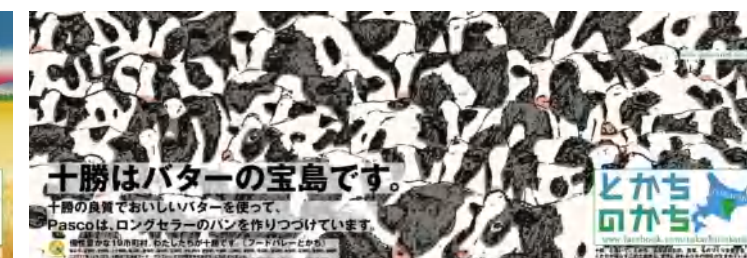
開拓130年・市制施行80年記念事業

帯広の市街地を舞台とした初めての市民マラソン大会を11月4日に開催しました。遠くは長崎・沖縄など全国各地から参加した3,039人のランナーが秋晴れの中を駆け抜けました。



★JR山手線中吊り広告を占拠！「とかちのかち」キャンペーン

9月25日から10月1日までの1週間、JR山手線11両1編成車両の中吊り広告を「十勝」が占拠しました。これは、首都圏における十勝の認知度とイメージを向上させ、国内外への販路と交流人口を拡大させることを目的に実施したもので、今後も様々な手法で帯広・十勝を売り込んでいきます。



ばんえい競馬の振興

■子供縁日の開催

家族連れのお客様にも帯広競馬場を楽しんでいただくため、子供向けの縁日を開催しました。



■ばんえい競馬のPR活動

帯広市外の馬券発売所や全国の地方競馬場において、馬車運行やばんばとの綱引きなど、ばんばとの触れ合いを通じたPR活動を実施しています。



スポーツの振興

全3事業

■大会開催地補助

帯広市でスポーツの全国・全道大会が開催される際に、経費の一部を補助しています。各種大会の誘致に取り組み、一流選手との交流機会を拡大するなど、スポーツを通じたにぎわいづくりをすすめています。



緑化事業の推進

全10事業

■「帯広の森」の育成

面積406.5ha、幅約550m、延長11kmの規模におよぶ「帯広の森」の健全な育成のため、計画的に間伐作業を実施しています。市街地を包み込むように配置された森は、市民の憩いの場として幅広く利用されています。

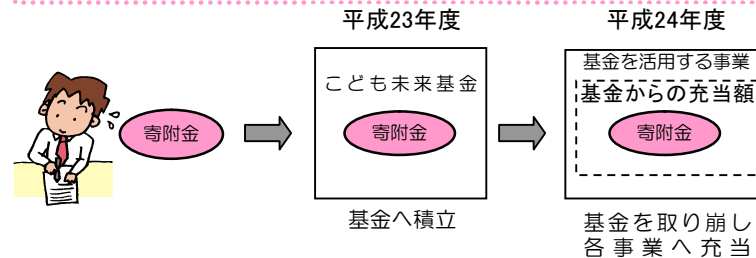


寄附金の活用状況

ご報告

平成23年度にいただいた寄附金は、皆様のご意向をふまえ、各分野の基金に積み立てたうえで、平成24年度以降に、各事業の財源の一部として活用させていただいています。ここでは、その活用状況の一部を紹介させていただきます。

(例) 平成23年度にこどもや青少年の健全育成に寄附をした場合



子どもや青少年の健全育成

全9事業

■子どもの居場所づくり

～放課後子ども教室・広場～
放課後や休日に、児童が安全・安心して遊べる場所を設けています。活動の中心となっているのは地域ボランティアやNPO法人で、今年も大勢の子どもたちの笑顔があふれています。



■子供親善訪問団相互派遣

子ども達の視野を広げ、帯広の将来を担う人材として成長してもらうことを目的に、国内姉妹都市（静岡県松崎町、大分市、徳島市）との間で、小学生の相互交流を行っています。



学校教育の推進

全3事業

■帯広市教育実践表彰

優れた実践活動等によって多大な成果を挙げた教職員や学校等を表彰することで、学校教育の充実振興を図っています。

■奨学資金貸付事業

向学心があり、十分な能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な方に対し、その修学に必要な資金の一部を貸与することで、有用な人材を育成するとともに、保護者の経済的負担の軽減をはかっています。

図書館図書の充実

■図書の購入

～フードバレーコーナーの新設～
帯広十勝の食に関する本や、フードバレーに取り組んでいる企業に関連した資料を約100冊集め、展示・貸出を行っています。



～ヤングアダルトコーナーの充実～

中学生・高校生をはじめとする10代の若者を対象としたコーナーを設けています。児童の本では物足りず、一般の本では難しい…ちょっと背伸びをしたい子どもたち向けに幅広いジャンルの本を取り揃えています。



文化の振興

全11事業

■親と子のわくわく音楽会

オーケストラの生演奏や楽器体験など、小学校低学年とその親に音楽の楽しさを体感してもらう機会として毎年開催しています。



■交響詩「十勝」演奏会

開拓110年を記念して制作された交響詩「十勝」の演奏会を20年ぶりに開催するものです。(12月13日開催予定)

福祉の推進

全8事業

■地域交流サロンの支援

高齢での一人暮らしや家族の介護、子育てなど、日常生活に不安を抱えている方に孤独感を解消してもらうため、地域交流サロンの活動を支援しています。

※地域交流サロンは地域の住民が親睦を深め、互いに助け合い、支え合うために現在23箇所が開設されています。

【お問い合わせは】
帯広市
政策推進部 企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1
電話：0155-65-4105(企画課直通)
E-mail: plan@city.obihoro.hokkaido.jp